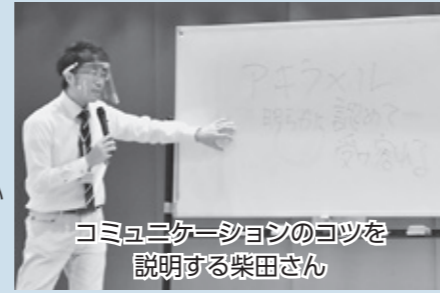


11/20 コミュニケーション力アップセミナー 相手を知り、受け入れる意識を持とう

八戸法人会三戸支部（石亀和郎支部長）は、青森県立三戸高校で、コミュニケーション力アップセミナーを開催し、約100人が個性心理学を活用したコミュニケーション力向上の方法を学びました。

個性心理学研究所の認定講師である柴田賢治さんが講師を務め、生年月日から個性の傾向を把握する方法を説明しました。柴田さんは「コミュニケーションは、数が大事。失敗を失敗と思わず、いろいろな人と話をしましょう。相手を知り、受け入れようとする意識が大切です」と積極的なコミュニケーションを呼びかけました。



コミュニケーションのコツを説明する柴田さん



愛情込めて育てた農産物を販売

11/28 さんのへ農業小学校が販売会を開催 おいしいリンゴはいかがですか？

子どもたちが食や農業について学ぶさんのへ農業小学校（栗生正志校長）による農作物などの販売会が町民体育館前で行われました。

子どもたちは、自分たちが育てて収穫した、野菜やもち米、リンゴなどを自ら販売。子どもたちの「おいしいリンゴはいかがですか？」

などの元気な声に、町民の足も止まり、用意された農作物が完売する盛況ぶりでした。

販売体験をした子どもたちは「みんなで協力して作った農作物がたくさん売れて良かった」と、農業を通じて少したくましくなったようです。

12/1 青森電子計算センター創立55周年を記念して書架を寄贈 子どもたちの読書習慣に役立てて

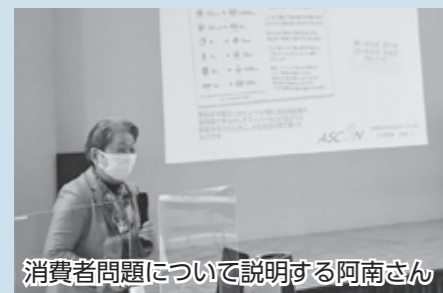
（株）青森電子計算センター（八島勝代表取締役社長）は、同社創立55周年を記念して、三戸町立図書館へ書架2台を寄贈しました。

八島代表取締役社長は「より多くの本が、町民の目にとまり、手に取ってもらえるよう活用してほしい」と松尾和彦町長に目録を手渡しました。



（左から）松尾町長、八島代表取締役社長

松尾町長は「三戸町は、絵本とお話のまちづくりにも力を入れている。大切な本を収めるため、有効に活用したい」とお礼の言葉を述べました。この活動は、5年ごとに行っており、三戸町へは、25年ぶり2回目の寄贈となりました。



消費者問題について説明する阿南さん

12/2 消費者フォーラム in 三戸 ともに学び、かしこい消費者になろう！！

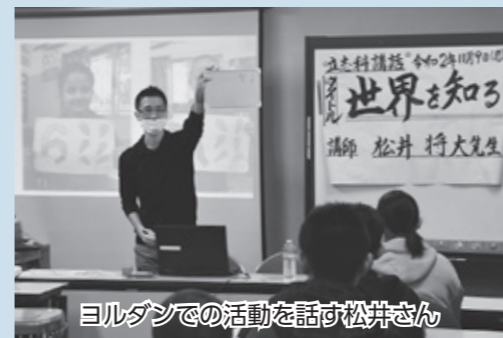
「消費者フォーラム」がジョイワーク三戸で行われ、参加者約60人が、消費生活について理解を深めました。基調講演では、元消費者庁長官で「消費者市民社会をつくる会」代表理事の阿南久さんが、新型コロナウイルス感染症関連の消費者相談状況や社会と環境を考えた消費スタイルなどについて説明をしました。次いで、青森県立三戸高校BMCからチャレンジショップや新商品の開発について発表があり、実行委員会を構成する町内5団体からも各団体の活動について報告がありました。参加者は、安心・安全なまちづくりには、地域のつながりが大切だと再確認しました。

11/5 (株) SANNOWA が新商品を発売 三戸町から青森のお土産を発信

（株）SANNOWA（吉田広史社長）は、新たに展開した菓子分野ブランド「アオモリ洋菓子店」の商品として、三戸町産のリンゴを使用した「葉とらず紅玉りんごのクリームサンド」を発売しました。町の老舗和菓子店「松宗菓子店」（松尾宗橘代表）が商品を開発・製作。同店の松尾宗樹さんは「甘さだけでなく、酸味も楽しめるよう工夫しました」と話しました。吉田社長と松尾さんは役場を訪れ、松尾和彦町長に発売を報告。吉田社長は「ねぶた」と「こぎん刺し」をデザインしたパッケージを用意し「三戸町から青森の新たなお土産を発信したい」と話しました。松尾町長は「紅玉の酸味とクリームが合っていて大変おいしい」と感想を述べました。【取扱店】松宗菓子店、道の駅さんのへ、カネイリミュージアムショップ（八戸市）、365（十和田市）、A-FACTORY（青森市）など。



発売された「葉とらず紅玉のクリームサンド」



ヨルダンでの活動を話す松井さん

11/9 三戸土曜塾の立志科で松井さんが講話 挑戦する楽しさを感じよう

三戸町出身で、JICA 青年海外協力隊として、ヨルダンで活動をしてきた松井将大さんが、三戸土曜塾の立志科の授業で講話を行いました。松井さんは、学生時代に行ったタイでのボランティア活動や青年海外協力隊としてのヨルダンでの体験談を通じて、コミュニケーションの大切さや外の世界に挑戦する楽しさを生徒たちに伝えました。講話の中で松井さんは「挑戦する楽しさやワクワク感を知ってほしい。外に出ることで、さまざまな刺激を受けてください。自分から動くことで人生は楽しくなる」と生徒たちにメッセージを送りました。小中一貫三戸学園三戸中9年生の青木心咲さんは「松井さんの話から、新しい気付きや感じるものがあり、とても勉強になった。これからは、自分から行動することを心がけてみようと思った」と有意義な時間を過ごしました。

11/12 三戸ロータリークラブ創立55周年記念植樹 小中一貫三戸学園にオオヤマザクラを寄贈

三戸ロータリークラブ（釜澤英文会長）は、クラブ創立55周年を記念して、小中一貫三戸学園三戸小中学校の第二グラウンド外縁にオオヤマザクラ20本を植樹しました。会員10人と児童は「大きくなあれ！きれいに咲いてね」などと声をかけながら、スコップで木の根元に土を被せました。釜澤会長は「子どもたちには、桜の木と一緒に、心の大きな大人に育ってほしい」と願いを込めました。



植樹作業を手伝う児童たち

12月3日、オオヤマザクラの寄贈を受け、三戸町教育委員会（友田博文教育長）から三戸ロータリークラブへ感謝状が贈られました。友田教育長は「春には、きれいな花を咲かせ、三戸学園を彩ってくれる。子どもたちが郷土を愛するきっかけとなれば」と感謝の言葉を述べました。